

令和6年度 期末評価結果

共同利用・ 共同研究拠点名	月惑星探査アーカイブサイエンス拠点
大学等名 (研究施設名)	会津大学（宇宙情報科学研究センター）
評価区分 (期末評価結果)	A
評価コメント	本拠点は、月惑星探査や観測的研究により蓄積されたデータを活用し、最新の知識と解析技術により新たな知見を得る、宇宙科学と情報科学が融合した月惑星探査アーカイブサイエンスを推進し、太陽系天体の起源と進化の解明を高精度・定量的に行える基盤を担うことを目的として拠点活動を実施している。共同利用・共同研究拠点としての活動は概ね順調に行われており、関連コミュニティにも貢献していると評価できる。 JAXA 等の月惑星探査データについて、最新の知見と解析技術を活用した解析ソフトウェアの開発やデータキュレーションを通じて、付加価値の高いオープンデータを提供するとともに、データ解析実習会を開催するなど関連コミュニティにおける研究成果の創出に貢献している。一方、本拠点の貢献が、論文成果として正確に把握できていない場合もあると思われる。 今後は、研究成果の帰属を明確にする取組を進めるとともに、拠点として積極的に研究成果を発信していくことが期待される。